

第3回 特別職報酬等審議会会議録（要旨）

[日 時] 平成28年11月8日（火） 午後5時30分～午後6時28分

[場 所] 府中市役所 北庁舎 第1・2会議室

[出席者] 委 員（五十音順・敬称略）

井上 郁子、郭 東仁、小久保 早苗、櫻井 誠、志水 清隆、
高野 佳子、内藤 治、長崎 益治、濱中 重美、渡邊 信
事務局

町田政策総務部長、赤岩職員課長、渡邊職員課長補佐、
青木人事係長、林主任、松本主任

[会議経過]

1 開 会 会長の司会により開会。

2 議 題

(1) 追加資料説明

(2) 審議・質疑

別紙参照

(3) 今後の会議日程

会長と会長代理による小委員会を開催し、答申書の素案を作成したのち、11月28日（月）午後5時30分から第4回審議会を開催することとした。

(4) そ の 他 事務局（人事係長）より、前回の会議録について修正事項の有無の確認及び公開の手続きについて説明があった。

(1) 追加資料

（会 長）

事務局から追加資料の説明をお願いします。

（事務局）

（前回の審議会において依頼のあった議長の対外的役職及び東京都26市の議員1人当たりの人口に関する資料について説明）

(2) 審議・質疑

（会 長）

事務局から補足説明があればお願いします。

（事務局）

審議に入るにあたりまして、事務局よりお願いでございます。本日も時間の許す限りご審議いただきたく存じますが、できましたら、今後の日程もございまして、本日の審議会で結論を決めていただき、「引き上げ」若しくは「引き下げ」の場合には、役職毎の報酬等の金額を具体的に決定していただきたく考えております。

（会 長）

ただいま事務局から補足説明がありました。審議の方法ですが、まず、ご意見・ご質問をある程度受け付けた後、各職の報酬額等を引き上げるのか引き下げるのか据え置きなのかについて方向性を確定させ、仮に引き上げ・引き下げとなった場合は、役職ごとの具体的な報酬額を決定し、改定の実施時期について審議をしたいと思います。いかがでしょうか。

（異議なしの声あり）

（会 長）

それではご意見・ご質問を受け付けたいと思います。

（委 員）

前回、私の考えとしては現行において下げることはないだろうという考えを示させていただいております。今回もその考えは変わりません。その背景として、前回、議員の活動が見えにくいという話もあったかと思っておりますけれども、ただ、活動自体をしていないかと言われるとそうではなくて。活動が見えにくいという部分であったと認識しているものですから、今回において議員の報酬は下げるべきではないと考えております。それに、資料を拝見する中で、特別職の報酬等については、各市の状況を鑑みてバランスをとりながら決めていく方法だろうという認識なのですが、府中市は確かに上位に位置している部分もありますが、特段、突出しているという認識ではないものですから、現時点において、他の職においても引き下げる議論にはならないというのが私の考えです。

（委 員）

府中市の税金が市民に還元される率というものがあつたと思います。この数値が他市に比べて府中市は高いと聞いていたのですが、近年の推移はどうなっているのか教えてください。

（事務局）

ご指摘のとおり、確かに府中市は高い水準にあるということは変わっていないと思うのですが、この10年でどのくらいで推

移しているかというデータは持ち合わせておりませんので、正確な数字についての資料は持ち合わせておりません。

(委員) 以前は東京都の中で2位か3位くらいで、全国でも高い順位だったと記憶しているのですけれども、仮に下がってきているのであれば、引き上げるといふことはしない方がよいと思います。

(委員) 現在、府中市の市議会議長の任期は2年であると思います。以前は1年であったという話を聞いたことがあるのですが、それはどのように変わったのでしょうか。

(事務局) 議長の任期そのものの考え方でいきますと、議員の任期と同じ1期4年というのが本来の形でございます。今は2年毎ですが、毎年交代するといったことは議会の中で議員同士の申し合わせにより、そのような扱いになっているという状況です。

(委員) 資料13や14を見ますと、昨年、八王子市については、他の市は下げている中、議員等の役職については2%から3%の報酬を上げていると見受けられますが、その背景がもし分かるのであれば教えてください。八王子市は、議員の他、市長については引き上げて、副市長・教育長・常勤監査委員については引き下げておりますが、その辺についてもお分かりになれば教えてください。

(事務局) 引き上げについて考えられるのは、八王子市は中核市という大規模な自治体という取扱いとなったことで、それに伴う引き上げという推測はできるのですが、議員以外の職について、市長だけが上がって、他の職については下げているということの細かい情報は持ち合わせておりません。

(委員) 財政基盤の確認なのですけれども、今後、公共施設関係の建て替えの計画がされている中で、府中市の支出が増えるというのが目に見えていると思うのですが、市としての支出が増えるのに報酬等を引き上げましようとなると出るものばかり増えるものですから、その観点で、支出が増える分ここは抑えましようというような、今後の計画があれば教えてください。

(事務局) 公共施設に関しては確かに老朽化が進んでおります。その中で、今後、今まで分散していたものを一つの箇所に集約して、効率的な公共施設運営を図るといふ公共施設マネジメントの取組みを市では以前から進めているところでございます。現在の施設の維持管理や建て替えに費用がかかる中で、その施設を効率的に使い、市民ニーズに対応することで歳出抑制に繋げていくという考え方でございます。

(事務局) 特に学校施設は、建築後50年を超えるところがたくさん出てきておりますので、耐震補強はしておりますけれども、建て替えの必要があるということで、今後、積み立ててきた基金を活用する必要があります。それでも、他に費用がかかるものを事業の見直し等を行って財源を確保しようということが求められている中で、その取

り組みの一つが公共施設マネジメントであり、インフラ・道路橋梁等についても同様の取り組みを進めているところでございます。また、前回の質問のところ、資料4になりますが、府中市の財政の推移について、「財産収入・その他」が減ってきている理由は、というご質問をいただきましたが、前は公共施設の売り払いの収入が大きいとお答えしたかと思えます。確かにそういうところがあるのですけれども、なぜそれを行い、なぜ減ってきているのかというところについては、平成24年度に市の保有する公共施設や土地の使われていないものを売り払って収入を得ようという取り組みが始まりました。近年は、序々に売れる土地が少なくなり、その分の収入が減ってきております。その他には、リーマンショック後の財政が苦しい中で、基金を取り崩して繰り入れを行ったということがございました。「財産収入・その他」の「その他」の部分には、基金からの繰り入れも入っておりますが、「市税」の項目は平成27年度に向かって序々に増えており、税収が上向いてきたことで基金を繰り入れる必要が無くなってきているため、その分の額が減っております。市としては、その時々々の財政状況に応じていろいろ工夫をしながら財政運営をしているところでございます。

(委員) 今のご説明のとおり、市税の方が順調に増加していることで財政状況はいいのかなという気はします。ただ、仕事柄、ふるさと納税の話題に触れることが多いのですが、ふるさと納税がかなり普及してきている中、横浜市は税収が30億円減った、世田谷区は11億円減ったというニュースを聞いたりするので、府中市もかなりの影響を受けていると思います。税収確保という点で、ふるさと納税をする方が増えていることで、今後かなり影響が出てくると思うのですが、府中市の状況はどうなのでしょう。

(事務局) ふるさと納税については、実際は納税ではなく寄付というものですが、府中市としては、その分の控除による影響が2億円弱で、億の単位で入るべき税が控除されているという一方、市にそういった意義での寄付をいただいているものは、何百万円という単位の金額でございます。今回、府中市でもふるさと納税を始めましたが、これは様々な議論があるところだと思います。元々の制度が、首都圏といいますか様々なところから地方に財源を移すという趣旨で始まった制度であると思いますので、国からの交付税というのは府中市では受けておりませんが、例えばそういった団体が地方と横並びのようなことをしているものかという意見はあると思いますけれども、黙って見ている訳にはいかないということで府中市としても始めさせていただいております。現状としてはそのような状況でございます。

(会長) まだまだ皆さま方からご質問を受け付けたいところではございますが、本日は方向性についてのご意見を伺うことになっております。

ここで、今回の審議会の方向性について、お一人ずつご意見を賜りたいと思います。

(委員) 市民感情を考えた場合、中には日本の経済状況が悪いと思っている人もいるかもしれませんが、報道等を見ると同じくらいの状況で維持しているという認識です。府中市については、市長を始めよくやられていると思います。その点で、私は報酬等について引き上げることで問題ないと思っております。ただ、市民感情としてそれを理解いただけるのかという心配があります。

(委員) 結論から申し上げますと、現行の報酬等での据え置きがいいのではないかと判断します。冒頭で申しあげたとおり、引き下げることについてはそれぞれの活動状況を考えてと厳しいという点と、各役職について細かく他市とのバランスを見ても下げることはないと思います。引き上げることに限っては、財政面や物価であったり、特に市場のところで大きな変化が起きてない中で引き上げる明確な理由が見出せませんでした。そういった観点から考えると据え置きが適当と判断いたしました。

(委員) 結論から申し上げますと、据え置きが妥当かと。資料3を見ますと、平成26年度に市長・副市長の給料の引き上げをされているわけですが、遡っていきますと、1年置きに据え置きの答申という状態が見られます。経済の様々な問題や変化、そういったものが起きている場合には、それに対応していかなければならないと思いますが、どう考えても、今、特別職の報酬等を上げるという状態ではないと。様々な資料からも、府中市が近隣の市から見ると高いところに位置しているように見受けられるわけですが、他の市も据え置きの状態が続いていることもありますので、府中市も今回は据え置きという形で様子を見ていくことが必要なのではないかと思えます。

(委員) 結論としては据え置きがよいと考えます。特別に収入が上がっているわけではなく、支出もそれほど多いわけではないというところで、社会情勢が今後どう変わるかはわかりませんが、現状のところで特段変化を与える要素があるかという点、私としてはそのようには見受けられません。ただ、一つひとつ、市長や副市長との折り合いを考えていくと、例えば、常任委員会委員長が議員より1万円高いくらいでいいのかなという疑問はありますけれども、基本的には現状維持の据え置きでよいと思います。

(委員) 前回お話しをさせていただきましたが、仕事の内容等を見させていただいた中で、とても多岐に渡る業務だと思われましたので、下げることは考えておりません。その中で出た結論としては、据え置きがよいと考えております。社会情勢から見ましても、現在、物価が上がってきておりますけれども、一市民としての考えですが、子育て世代の母親の皆さんと話していても、経済が豊かになってきてい

るといのが肌で感じられるかというところをそうは思っておりません。ただ、配られた資料で見ると府中市は財政が豊かな街でしょうし、まだまだ再開発を含め、この2・3年で大きく変化していく街だと考えておりますし、各議員や市長の働きも十分存じておりますので、この段階では据え置きで、数年後の状況を見て、引き上げるという議論を深めていくのがよいと考えております。

(委員) 私の結論としては、据え置きでよいと思います。人事院勧告において職員の給与も年間0.1月分しか上がらないということですし、経済状況や特別職の報酬等も他市に比べて上位にあるというようなこと、前回改定したときと比べて、26市中の順位がそれほど変わっていないということもございますので、据え置きでよいと思います。

(委員) 私も据え置きという考えです。仕事をしている中で、確かに景気は良くなりつつあると感じてはいます。ただ、オリンピックが迫っているとはいえ、バブルのように浮かれた雰囲気ではなく、はっきりとした実感はないけれども仕事はあるというレベルの感覚なので、民間企業において、社長自身や従業員の給料を引き上げるところまでは追いついていない状況にあると思います。そういった状況からしても、数値的には会社の利益が出るようになり、給料の方も若干上がっているという統計が出てはいますが、皆さんの実感としてまだ足りていないというところがあります。やはりその辺は市民感情というものを考慮しなければいけないと思いますので、今回は据え置きとするのが一番よいと思います。

(委員) 結論から申しますと、据え置きとせざるを得ないと思っております。ただ、資料を拝見する中で、市長の活動状況を見ますと、本来もらうべき給料は仕事に対する対価であるという意味でいったら、もっと給料が多くてもよいのではないかと思います。なおかつ、区部の報酬等を見ると、府中市と2割以上差がついているものもあるくらいですから、果たして職責にそこまでの差があるのかとも感じているのが実際です。また、前回申しあげましたけれども、26市との比較の中でのバランスを見て判断するというところがある程度の着地だと思いますが、そうしたときに、議長と副議長の順位が少し低いので、その点について今回は難しいとしても、将来、場合によっては引き上げもあるのではないかと思います。社会状況としても、私の周りではデフレマインドが全然解消していないと感じておりますが、政府としてはそれを解消しようとしていると思うので、その部分を加味すると少し上げてもいいかなという気持ちはあるのですが、全体のバランスでいったら、現段階で市民感情を考えたときに今回は引き上げずに据え置くことが無難だというのが率直な考えです。

(委員) 特別職の皆さんは、業務が多岐に渡る中で精力的に活動されてお

りますので、その仕事ぶりにとても感銘を受けますし、議長については、今、当番地区ということでさらに業務量が多いという状況も分かっております。その点については、報酬等について少し引き上げてもよいかとも思いますけれども、資料を見させていただいたり、社会情勢や経済状況を鑑みますと、やはり賃上げの実感というのがあまり感じられませんし、市民感情の面でも、子育て世代の方と接する中で、待機児童問題ですとか、市としてやらなければいけないことがまだたくさんあるのかなということも考えますと、やはり今回は据え置くことが無難ではないかと思えます。

(会 長) 委員の皆さまからそれぞれのご意見をいただきました。9割方、特別職の報酬等については据え置きが適切ではないかという話を賜りました。ここで裁決を採りたいと思えます。皆さんの意見をお伺いして、据え置きという意見が多いため、今回の答申においては据え置きという方向でよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

(会 長) 皆さん異議なしということですので、本審議会としては、報酬等の額を「据え置き」とする結論に達しました。